

“FAから次世代の
クリーンルーム・テクノロジーまで”

JASDAQ

証券コード: 5742

Key Technologies for the future

Alfa Frame Systems

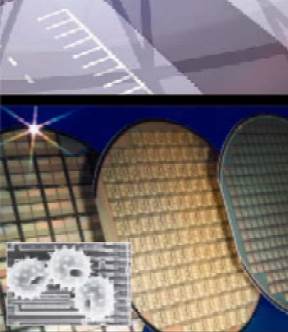
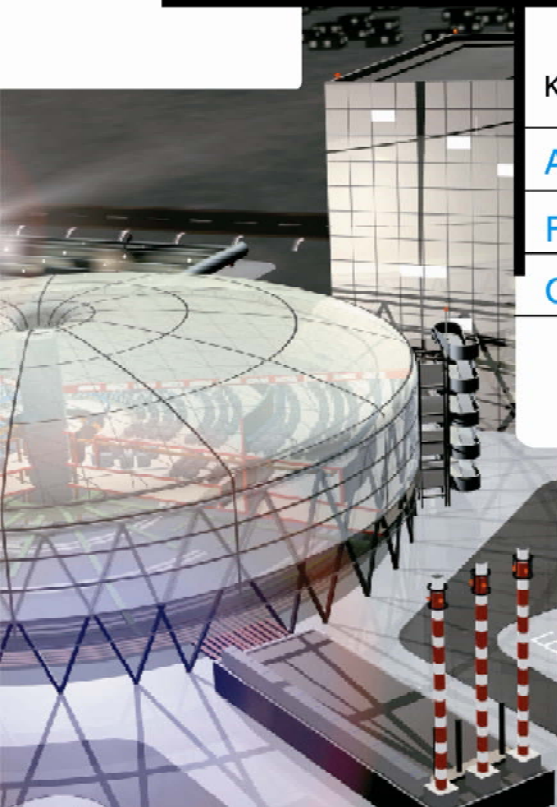
Factory Automation

Cleanroom

おかげさまで創業80周年

SINCE 1927

エヌアイシ・オートテックの 現状と施策



2008年7月5日

エヌアイシ・オートテック株式会社

代表取締役社長 西川 浩司



新製品発表



- ◆ 2008年6月23日「日経産業新聞」一面に設計・組立支援サポートサービス（商品名“カクチャ PAT.P™”）に関する記事が掲載されました。

アルミ部材、納期半分

NICクリーンブース向け

ジャスタック上場のアルミ構造部材メーカー、エヌアイシ・オートテック(NIC)は生産ラインの一部を囲い、ちりなどがない環境にする「クリーンブース」向けのアルミ部材で、納期を半分に短縮する。設計情報を入力すれば数十種類に及ぶ必要部材がリストアップされるAD(コンピュータ)

による設計)システムを開発し、導入した。顧客はクリーンブースを組み込んだ生産ラインの設計を迅速化でき、設計変更にも柔軟に対応できる。

来は見積書の完成まで三、四日は必要だったが、新ソフトの導入で早ければ一日に短縮する。

秋山雅弘社長)と共同で開発した。顧客の大きさに関係なく、組みになるアルミ材の太さや寸法などを入力すれば立体的な図面と必要部材のリストができる。従



お陰様で上場1年目にして

2007年度ジャスダックIR優良会社に選定されました。

“976社中8社”



(株)ジャスダック証券取引所
代表執行役社長 筒井高志様

エヌアイシ・オートテック(株)
代表取締役社長 西川浩司



目次

トピックス (1/2) (2/2)

1. 会社概要
2. 当社の製品と特徴
3. 沿革
4. 事業所
5. 企業理念・経営方針
6. 環境方針
7. 3つの事業部門
8. 売上高及び通期計画
9. 事業環境と当社の取り組み
10. 開発の基本方針
11. 戦略の基本方針
12. 設計・組立支援サポート
13. 株主還元について

会社概要

社名

エヌアイシ・オートテック株式会社

国産初のアルミ構造材(商標名「アルファフレームシステム」)を自社開発し、アルファフレームを使用したクリーン機器やFA・省力化装置等の設計・製作・開発を行っております。

工業用ヤスリ工場から出発し、2006年6月にジャスダック証券市場に上場、2007年には、創業80周年を迎えました。

創業	1927年4月(昭和 2年)	設立	1971年5月17日
代表者	代表取締役社長 西川 浩司		
本社所在地	富山県富山市清水元町7番8号		
東京本社	東京都江東区有明三丁目1番25号 有明フロンティアビルB棟11階		
資本金	156,100千円(2008年3月末日)		
従業員数	160名うち正社員143名(2008年3月末日)		



自動化・省力化・クリーン装置 — 装置部門

“ものづくり現場の生産性向上をご提案”

知的知財

F A 装置

(ファクトリーオートメーション)

- ・ 洗浄装置
- ・ 製造装置
- ・ 搬送装置
- ・ 検査装置



各種コンベア
Alfa Conveyor



クリーンワゴン
Clean Wagon



ボックス式洗浄装置
Box Type Washer



簡単組立式クリーンブース
Alfa Clean System

クリーン関係

- ・ クリーンブース
- ・ クリーンベンチ
- ・ ミニエンパイロメント
- ・ 各種クリーン機器



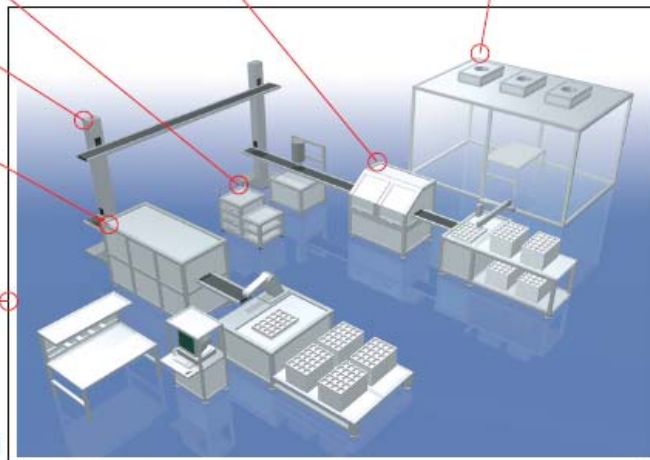
検査装置
Inspection device

工業製品その他

- ・ マシンカバー
- ・ マシンベース
- ・ 収納ケース
- ・ ストッカー
- ・ 作業台



クリーンルーム
Clean Room



アルファフレームシステムを使用したF A（自動化・省力化）装置、クリーンブース等の開発・設計・製造・販売

アルファフレーム-アルファフレーム部門

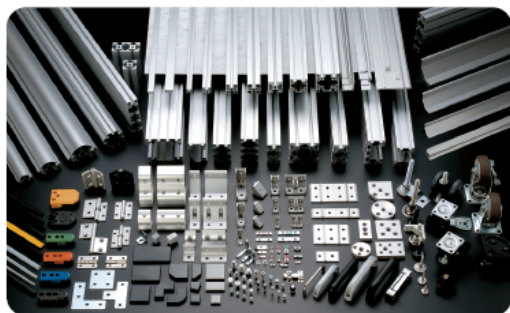
ALFA FRAME® SYSTEM アルファフレームシステムの提案

装置メーカー自らの経験およびノウハウより誕生した
“高性能”かつ“高品質”な
アルミ構造体システム

アルファフレームの特徴

- 環境にやさしいリサイクル性
- 軽く強く美しい
- 急な設計変更や増設に対応
- 豊富な製品群“1500以上”
- 幅広い分野に対応

ALFA FRAME® SYSTEM



Automobile
自動車

Semiconductor / FPD / Clean
半導体・液晶・クリーン関係

Microelectronics / Machine
電子・精密機械

Pharmaceutical / Food
薬品・食品

組立工数比較（一般例）

- ALFA FRAME® SYSTEM (3つの加工工程)

設計 + 切断 + 組立

- スチール製構造部材 (6つの加工工程)

設計 + 切断 + 溶接 + 機械加工 + 塗装 + 組立



新商品 高剛性フレーム



新商品 LEDシリーズ



新商品 デルタブラケット



メーカー機能を持った商社として、安定したビジネスを展開



工業用砥石



油脂類



工場等の
機械設備



工具・
ツール

3つの事業部門

アルミ製構造部材から高度な自動化装置、さらにはクリーンルームの製造・販売までの一貫体制

- アルミ製構造部材の国内でのパイオニア的存在
- 経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
- 新製品開発力
- 豊富な製品群“1500以上”による多彩なシステムの提供

アルファ
フレーム
部門



3つの
事業部門

アルファフレーム+装置+商事
=高付加価値技術の提供



装置
部門

- 幅広い業界で利用される技術
- 特定の業界に依存しない業務体系
- 先端技術力を持つ企業から積極的受注体制

商事
部門



- 「メーカー機能」を活用した設備の導入提案営業

沿革

当社は創業80年の長い歴史を有する(時代と共に変革)

1927年 4月	富山県富山市に西川鑪製作所を設立、鑪の製造及び加工を行なう
1960年 3月	西川鑪製作所をクレト商会に商号変更
1970年 10月	株式会社クレトに商号変更(2002年4月吸収合併)
1971年 5月	富山県富山市にキュノ・トヤマセールス株式会社(現当社)を設立
1985年 4月	エヌアイシ・オートテック株式会社へ商号変更
1986年 4月	国産初のアルミ製構造部材「アルファフレーム」™ ALFA FRAME® SYSTEM “を開発
1988年 5月	「アルファフレーム」の商品化、製造・販売を開始
1997年 12月	M+W Zander社(独)とクリーンルーム事業を開始(合併会社)
2001年 3月	同クリーンルーム事業を継承し、クリーンブースの製造・販売を開始
2006年 3月	ISO9001(2004年8月) ISO14001認証を取得
2006年 6月	JASDAQへ新規上場
2007年 6月	技術開発センター開設

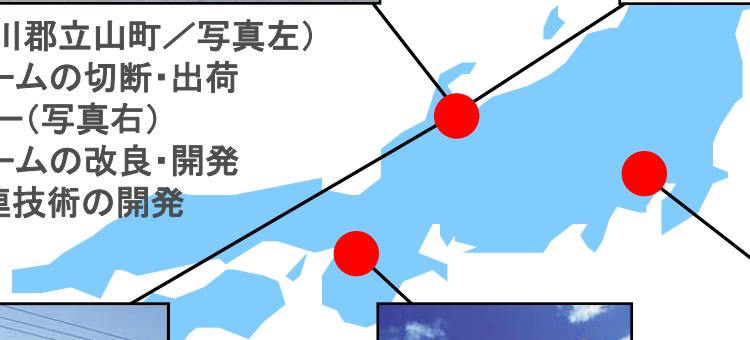
事業所(生産・開発・販売拠点)



立山工場(中新川郡立山町／写真左)
・アルファフレームの切断・出荷
技術開発センター(写真右)
・アルファフレームの改良・開発
・各種装置関連技術の開発



流杉工場(富山市)
・装置の設計・製作



商事部門(富山市)



アルファフレーム関西(大阪府東大阪市)
・アルファフレームの加工・販売



東京本社(東京都江東区)

■企業理念

公 明 正 大

“志”

甘え・自惚れ・驕り・マンネリは企業の敵である
変化は常にチャンスを生み出す

■経営方針

「モノづくりを通じて社会の発展と創造に貢献する」

お客様

知恵と技術を結集した高品質な製品とサービスを提供

社員

仕事を通じて自己実現の機会を与え、快適で働き甲斐のある職場環境

株主

期待と信頼にこたえられるよう最大限の企業努力

地域社会

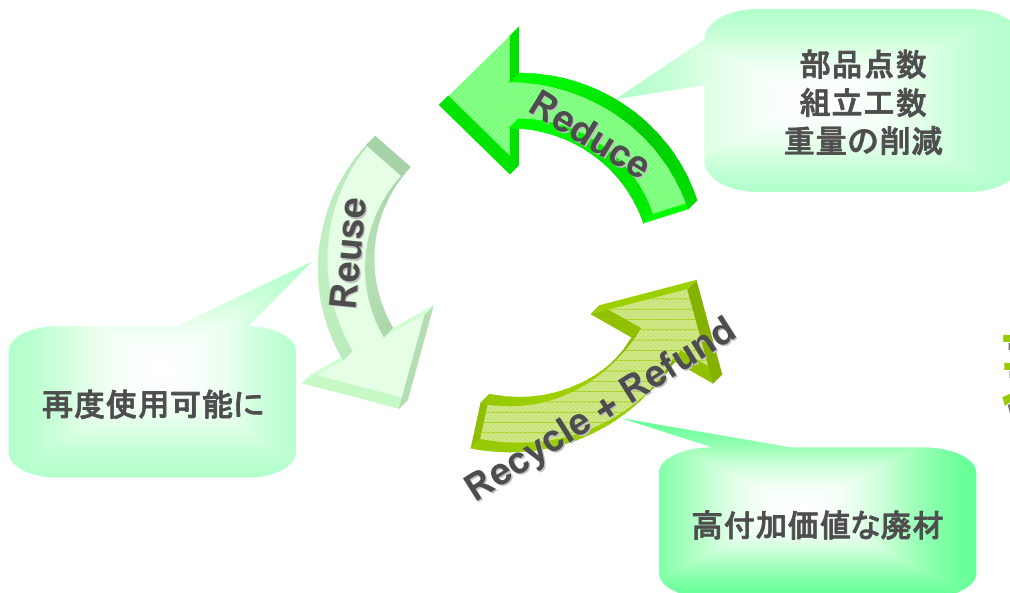
『感謝、感謝』の気持ちで地域に貢献

■環境理念

当社は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題であることを認識し、将来にわたって人類の夢が守られる持続可能な社会作りを義務として、積極的に社会貢献する。



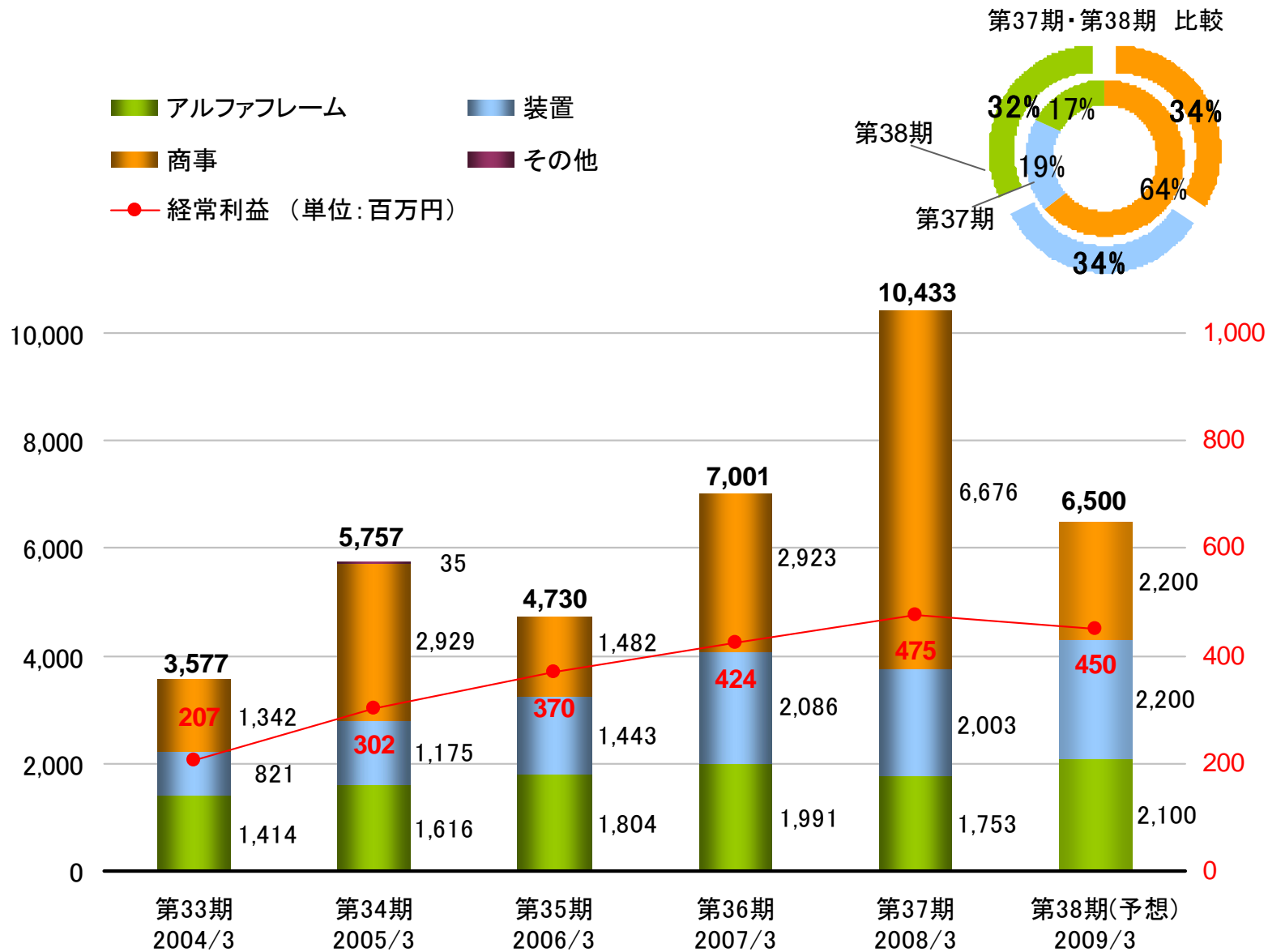
■アルミの特性



3R(リデュース・リユース・リサイクル)
+ 1R(リファンド) = 4R
トータル原価低減

環境に優しい
グリーンテクノロジー

売上高及び経常利益の推移



第38期 通期計画

(単位:百万円)

	今期計画 (2009年3月期予想)		前年実績 (2008年3月期実績)		増減	前年比	要 因
売上高	6,500	100%	10,433	100%	▲3,933	62%	・ 商事部門の大型機械設備投資案件が一服することに伴い減収となるが、アルファフレーム部門で開発した当社独自の受発注・設計・組立支援ソフトの活用により同部門の売上高は伸長、また装置部門は大型カスタムクリーンブースの受注を見込
売上総利益	1,420	22%	1,384	13%	35	103%	・ 利益率の低い大型機械設備投資案件の減少で粗利益率が大幅に改善され前事業年度並みを見込
営業利益	450	7%	463	4%	▲13	97%	・ アルファフレーム部門の売上高伸長に伴う運賃や広告宣伝費等の変動費の増加により微減
経常利益	450	7%	475	5%	▲25	95%	・ 上記要因による費用の増加に伴い減益
当期純利益	256	4%	268	3%	▲12	96%	・ 同上
研究開発費	71	—	62	—	8	114%	・ 各種研究開発の充実、FA装置に係る新技術、アルファフレーム、クリーンブース等、次期新製品の開発等による増加
設備投資	34	—	161	—	▲127	22%	・ 既存設備の更新を見込(大幅な更新、改修等の計画はありません)
減価償却費	82	—	70	—	12	118%	・ 前年度取得のソフトウェア及び設備(技術開発センター等)による償却費の増加

事業環境と当社の取り組み

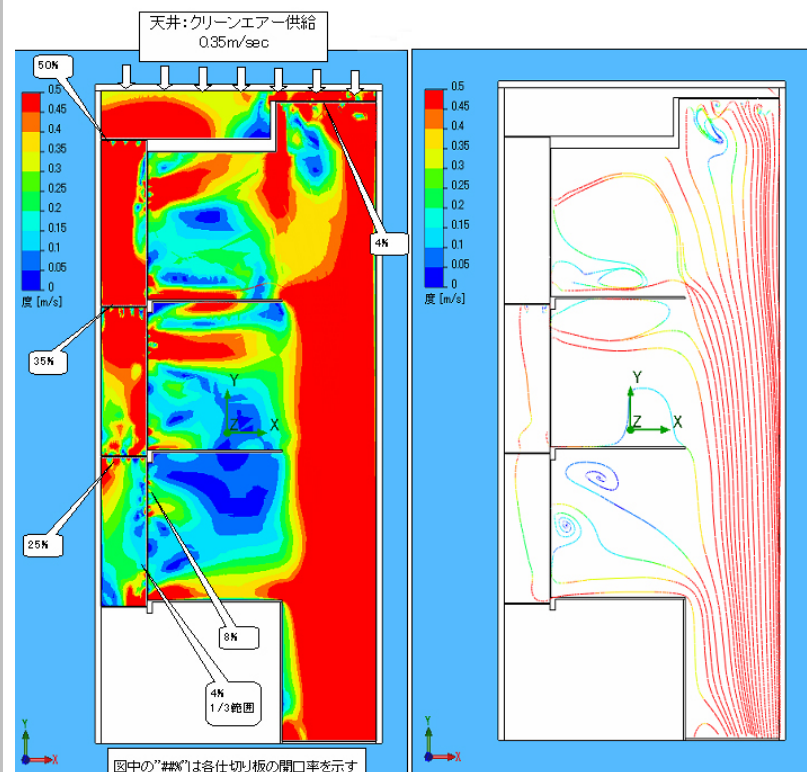
- ◆ 昨今の人材不足による設備の自動化、省力化の促進
- ◆ 簡易組立・分解、フレキシブルに優れたアルミフレーム市場の増大
- ◆ 先端技術の微細化に伴うクリーン関連製品の需要増加
- ◆ 局所クリーン装置のパイオニアとして各種マーケットへの参入

開発の基本方針

知的知財

- ◆ 開発体制強化のため技術開発センターを設立
 - ・ 開発期間の“短縮”
 - ・ 解析技術強化
- ◆ 知的財産権（平成20年3月31日現在）
 - ・ 特許権 31件／商標権 32件／意匠権 57件
- ◆ 省エネルギー及び環境にも配慮した製品・製造技術
 - ・ 環境問題対策として有害物質を代替物質へ変更
 - ・ RoHS指令への対応拡充（EU：欧州連合格）
- ◆ コスト低減技術の継続
 - ・ 新構造アルミフレームの開発
- ◆ 高精度・高品質・高付加価値化を探索＝顧客ニーズ

局所クリーン装置気流解析例



良い社員＋良い製品＝良い会社

" good folks + good products = good company "

◆ 人材力＝企業のチカラ

- ・ 高度な技術・サービスの提供のための人材確保
- ・ 産学連携による技術と人事交流の推進
- ・ 社員のモチベーション維持・向上

◆ 高付加価値技術の提供

- ・ 技術支援
- ・ 設計支援
- ・ 短納期

◆ ALFA FRAME® SYSTEMをコアとした新たな事業展開

- ・ 設計・組立支援サポートサービス（商品名 “KAKCHAR PAT.P™”）

設計・組立支援サポート (1/2)

● 設計・組立支援サポートサービス“KAKCHAR PAT.P™”を開始

KAKCHAR（カクチャ）とは、富山弁で“書くちゃ！”です。
納期を驚異的に短縮する世界初の受発注・設計・組立支援ソフトを開発。
同時に、そのシステムを活用したサポートサービス（商品名「カクチャ PAT.P™」）の提供により、
お客様の利便性を高め、コスト削減に強力なご支援をお約束します。

設計時間は1/3に短縮
フルサポートで、総作業時間は半減

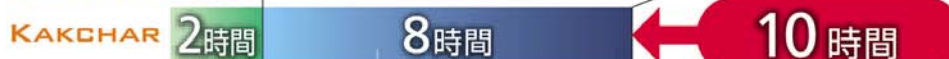
■設計から組立までお客様にて実施



■設計のみNICに委託
(材料のみ購入)



■全てNICに委託



設計・組立支援サポート (2/2)

- ◆ 見積書・図面の作成時間を大幅短縮
- ◆ 各種専用機能による人為的ミスゼロ化
- ◆ 3Dイメージ図・見積書のスピード提出による受注率向上
- ◆ 組立用図面の出力による組立工数削減 (当社もユーザーも=Win・Win)

・ラフスケッチから完成までフルサポート

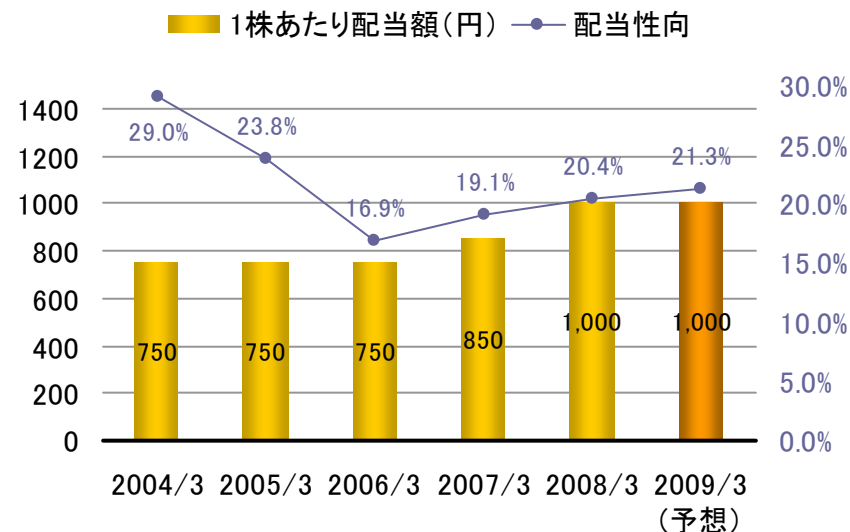


株主還元について

◆ 利益配分に関する基本方針

「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しており、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実にいっそうの努力を行って、収益の拡大を図り、営業成績やキャッシュ・フローの状況等を勘案して適切な配当を実施していくことを基本方針としております。

2008年3月期の期末配当は、1株当り850円に創業80周年記念配当150円を加えた1,000円としております。



◆ 株主優待制度

株主の皆様のご支援にお応えするため、毎年3月31日現在1株以上所有の株主様に対し「クオカード」1,000円券1枚を贈呈しております。



- 本資料は、当社に関する情報の提供を目的とし、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料に対するお問合せは、以下のIR担当窓口にてお願い申し上げます。
＜エヌアイシ・オートテック株式会社 経営企画室＞
TEL: 03-5530-8066 FAX: 03-3570-2381
Mail: ir@nic-inc.co.jp URL: <http://www.nic-inc.co.jp/>

ご清聴下さりありがとうございました。

エヌアイシ・オートテック株式会社



- | | | | |
|-----------------------------------|-------------|----------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 東京本社 | / 〒135-0063 | 東京都江東区有明3-1-25有明フロンティアビルB棟 | TEL : 03-5530-8066 |
| <input type="checkbox"/> 商事部門 | / 〒930-0034 | 富山県富山市清水元町7-8 | TEL : 076-425-1054 |
| <input type="checkbox"/> 流杉工場 | / 〒939-8032 | 富山県富山市流杉225 | TEL : 076-422-2578 |
| <input type="checkbox"/> 立山工場 | / 〒930-0272 | 富山県中新川郡立山町塚越398-176 | TEL : 076-463-5578 |
| <input type="checkbox"/> アルファーム関西 | / 〒578-0965 | 大阪府東大阪市本庄西2-4-29 | TEL : 06-6747-2212 |